

## 令和5年度 大学向けアンケート集計結果

### 1. アンケート目的

各大学に所属する本校卒業生の状況を把握し、回答の情報を整理、分析し、本校の教育目標、内容及び教育方法の改善に供する。

### 2. アンケート内容

(1) 大学在学中の本校卒業生の評価

・①本校卒業生の評価 (15項目, 1~5段階評価)

[1]多面考察力, [2] 自主学習力, [3]創造力, [4]実践力, [5]倫理観, [6]分析力, [7]問題解決力  
[8]基礎学力, [9]専門基礎能力, [10]専門応用能力, [11]実験・実習, [12]日本語発表・討議  
[13]英語発表・討議, [14]日本語技術文章力, [15]英語技術文章力

・②~③は記述項目

②その他

③今後の豊田高専の教育指導について希望されることについて

(2) 本校卒業生の在学状況及び予定を含めた進路先 (個人情報が含まれるため、結果は記載しない)

①在学・卒業の状況をリストから選び在学の場合は学年の記入

②卒業 (予定含む) 場合の進路選択をリストから選び、具体的な企業名・部署もしくは進学先とその学科の記入

### 3. アンケート対象

今回：2018年度~2022年度卒業生のうち大学進学者 275名

(前回：2015年度~2019年度卒業生のうち 264名)

### 4. アンケート回収率

学科	送付大学	送付学科	送付件数	有効回答数
機械工学科	9 (5)	11 (5)	42	14
電気・電子システム工学科	17(15)	24 (18)	101	72
情報工学科	10 (7)	14 (10)	44	29
環境都市工学科	11 (7)	7 (7)	42	30
建築学科	8 (6)	8 (6)	46	30
合計	-	-	275	173

( )は回答を頂いた大学, 学科の数

回収率(回答が得られたアンケート対象) : 62.9%

回答大学数(回答が得られたアンケート対象) : 22大学 (送付大学 26)

回答学科数(回答が得られたアンケート対象) : 34学科 (送付学科 45)

5. アンケート結果の分析

(1) 前回(2015年度~2019年度)と今回(2018年度~2022年度)での全学科平均および各学科の平均値の比較

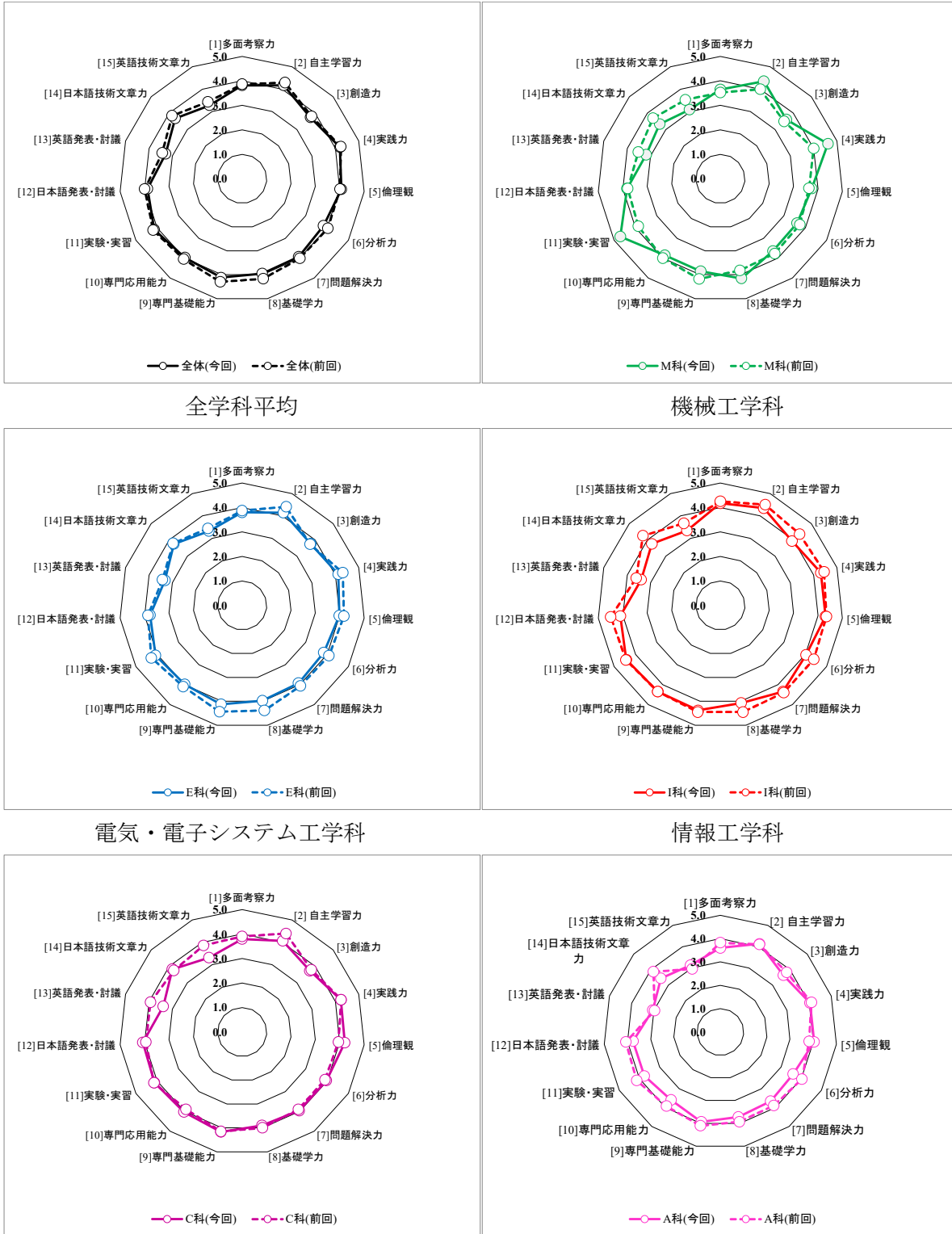


図1 全学科平均および各科の平均値の分析結果

(2) 図1に前回(2015年度~2019年度)と今回(2018年度~2022年度)での全学科平均および各学科の平均値の比較したレーダーチャートを示す(①~⑥)。

- 1) 全学科平均分析：今回(2018年度~2022年度対象)のアンケート結果は、前回(2015年度~2019年度対象)のアンケート結果と比較し大きな変化は見られない。これまでと同じ評価を受けている。
- 2) 機械工学科：前回に比べ今回のアンケート結果では、[4]実践力や[11]実験・実習の項目で、高い評価が得られた。実技・実験の科目での経験が生かされていると考える。一方で、[13]英語発表・討議、[14]日本語技術文章力、[15]英語技術文章力は、前回よりもわずかに低い。
- 3) 電気・電子システム工学科：前回と今回のアンケート結果はほぼ同じ傾向である。些細ではあるが、[8]基礎学力、[9]専門基礎能力が前回よりも低い。この要因として、[2]自主学習力も前回より低いことから、学生の勉強の時間や勉強に対する姿勢が低下したためと考える。
- 4) 情報工学科：前回と今回のアンケート結果はほぼ同じ傾向である。ただ、[14]日本語技術文章力に関しては、他の項目の中で前回とアンケート結果との低下の差が大きい。
- 5) 環境都市工学科：前回のアンケート結果に比べ、[13]英語発表・討議と[15]英語技術文章力の項目が今回の結果では低い。その他の項目では、前回のアンケート結果と同じである。英語能力が不足している。
- 6) 建築学科：前回のアンケート結果に比べ、今回のアンケート結果では、多くの項目でわずかではあるが評価が低い。

以上